

“ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

(文化・観光部)

事業番号	7	事業名	東部地域都市拠点総合整備事業推進費
------	---	-----	-------------------

1 基本情報

実施日/班名	9月7日 第2班	時間	13:10~14:25
担当課名	ふじのくに千本松フォーラム整備課	事業費	5,296,000 千円

2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	3
			一定の効果がある	17
			あまり効果がない	7

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

目的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールが特にそうだが、会議室稼働率 70%はとても無理だと思う。一度富士山ブームで来てリピートのための目新しいものがない。 ・すでに完成に近い施設なので評価をするのは難しいが、これからの施設としての果たす役割に県がどのように管理、運営していくのかよく分からない。特に目標の来場者数、稼働率は少し高過ぎないか疑問に思う。 ・東部地域の成果指標の低い内容を分析するべき。
対象範囲	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を考慮した場合、誘客等が見込まれない。東部地区(三島、沼津、伊豆地区)の一体化を先に検討すべきではないか。 沼津市のみを考慮したもので、東部地区の活性化とはならない。 ・地域の活性化のためには、経済団体等のプラサヴェルデの連絡会を密にして欲しい。PRが特に必要。東部地区全体の活性化になるだろうか？ ・<東部地区の活性化について> 富士山が世界遺産になりました。長い目で見ると、富士、富士宮市に来る観光客、又は富士山に関係する会合等も受け入れることが出来るのではないのでしょうか。特に富士宮市には宿泊施設がなく、ほとんどが山梨県(特に河口湖)に受け入れられてしまっています。東部地区の市町がこの施設に対して関心を持っていただくために、県の努力が必要ではないのでしょうか。東部地区全体で考えることだと思う。 ・施設完成後の運営計画をしっかりとって、東部地域の活性化につながる施設になっていくようにしてほしいです。現段階での評価は難しい。 ・平年ベースでの収支差を少なくする為には、イベントの多さになり、指定管理者に力をふるっていただくしかない。うまくいけば“大きな効果”となるであろう。 ・目標、人材の見込みがあやふやで、それが下回ると大きな赤字運営となる。 ・今後の取り組みが重要。ユーチューブを使った取り組みも必要(PR)、使用率UPのためのNPOやボランティアの育成も(御殿場市の取り組み参考)。

- ・コンベンション等誘致の方法、サービスについて、リピーターを得られるように最善を尽くして頂きたい。周辺整備もともに行えたら良い。
- ・県東部の重要都市（沼津）に出来る総合コンベンション施設「千本松フォーラム」の完成が待ち遠しいところですが、運営管理の難しさが問われます。浜松市の商業施設は10数年経った現在、大赤字。浜松市も毎年赤字補てん。市民の税金です。沼津は浜松のこの二の舞にならない運営をされたい。親方日の丸にならない綿密な運営を願うばかりです。アイデアあるイベント運営を望みます。
- ・立派な箱物建設をしても、建設後の運営次第で赤字、黒字の判定が出ます。有識者、一般県民の知識の湧出力で将来が決まりそうです。イベント運営の難しさがあります。計画性のある魅力あるイベントがいかに大切かと言うことです。運営能力のある人材の確保推進も、前もってやられたい。県民の税金を垂れ流さないよう願いたいものです。
- ・地域を活かした取り組みの方がよい。東京、関東圏を控え、中心とは成りづらい側面は、受け入れた計画の方が良いではないか。
- ・出来上がっている施設にて、年々、稼働実績を上げ収益を増やすように、県、沼津市、住民等すべてを巻き込んで、地域の活性化に向け取り組んでいただきたい。北口方面だけでなく南口、伊豆方面へも活性化に繋がられるように。
- ・災害時は避難所として使えるように、設備を整えておく用意をしていただくと助かる。
- ・「広報活動に力をいれ、テナント料を抑える。」そういう民間では当たり前の経営努力ができるのかが一番の問題。補助金あり、NPO運営ではおそらく難しい。
- ・県内のみではなく県外へのアピールをする。
- ・展示イベント施設を有効に利用する。
- ・一般の県民にとってどれくらい利用があるのが疑問です。国際会議、全国規模の学会の誘致と並行して、県民からも利用される（愛される）施設になるよう期待したい。くり返し利用してもらえそうな、具体的案を考えて欲しい。
- ・来場者70～80万人は2000人/日となる。会議場利用促進を早く進めて欲しい
- ・交通アクセスが良好をうたっているが、新幹線STからの乗り換え等、アピールほどアクセスは良いとは言えない。
- ・保守管理費など、無期限に県税をつぎ込むのではないか。県のグリーンピアにならなければよいが。
- ・地域性をもっとアピールしていかないと、会議誘致は難しい(沼津だけでは無理)。
- ・会議の利用者が街の活性化につながるような区画整理が必要。
- ・完成した施設を最大に利用する施策をもっと実現して欲しい。広報をもっと強く。
- ・集客の手法は？市民・団体等いろいろな方面への周知が必要。
- ・PRの方法等を工夫し、少しでも多く集客できるよう頑張ってください。
- ・地元の宿泊が4%。大きな学会や国際会議は遠方の方の利用となる。それと平行して地元の方が使えるようになると県の予算を使う意味があると思う。

(2) その他の意見

- ・多目的ホールは活気がある。
- ・MICEの実現は魅力にとぼしい。
- ・管理運営目標が、数字遊びにしか見えません。
- ・所謂ハコモノアレルギーでもあるが、今日迄に見直しするハコモノ（施設）は存在している。後は稼働率を上げる営業活動をする方法しかない。使いやすい、関東地区を持っている、伊豆・観光地があって、だけでは勝てない。
- ・地区として新規開館開設でお客移動によるマイナスは検証しましたか？
- ・以前の施設のときも稼働率は低かったと思うが、新しい施設になっても改善はあるのか不安。
- ・地域の活性化は良いと思うが、学会やさまざまな大会、会議が目標どおり行われるのか。
- ・会議室は利用価値の創成が難しい。
- ・三島駅からシャトルバスを出したいが、無料にしにくい。路線バスと全く同じ地点間になるため。
- ・東部にこれだけのイベントホールは欲しい。駅近くの駐車場もうれしい。効果を期待するが、厳しい。
- ・静岡空港の時もそうだが、「見込み違い」の経済的責任は誰が何年先まで取れるのか。
- ・駅前百貨店が失敗した理由が参考になりはしないか。
- ・大変分かりにくい。東部地域における広域都市拠点に将来成長を期待したい。
- ・4～5年後の稼働率が、富士山静岡空港のようにならないように。
- ・施設管理（赤字）にならないか、アクトタワーの場合から不安に思う。
- ・地域で盛り上げていけるかどうかだが、もう進めるしかない現状で相談をする時ではない。
- ・管理運営の目標の表中、大ホール、中ホールの日稼働率が60～73%で想定されているが、これらはどのような使用を考えているのか。
- ・それぞれの1回の使用料はどのくらいか。出来る限り多くの人に使用してもらうには、使用料は重要であると思うかどうか。
- ・立地条件は非常に良いので、集客状況によっては大きな効果があると思われるが、現時点では進行形状であるため評価が困難。
- ・防災等の機能が十分有るのか、電気代とかソーラーパネルをつけて電力を売るのは。災害時の施設のあり方は。
- ・厳しい意見が多かったです。まだこれからですので良い結果が出ることを祈っています。
- ・使い勝手がいいとか、伊豆に観光地があるとかいう話があったが他のところも同じように持っている。他に勝てる方法をどのように考えているのか。
- ・これだけのお金を費やして建ててしまったのだから、何がなんでもたくさんの人に来てもらう。